

令和4年度  
一般財団法人本山町農業公社  
定時評議員会  
議案書



第10回天空の郷もとやま写真コンテスト入賞作品 「初夏の大吉橋に集う蛍と星々」

令和4年6月17日（金）15：00～  
本山町役場「第一会議室」

一般財団法人本山町農業公社定時評議員会提案議題目録

議案 番号	審議 内容	議 案 名	提案理由（定款抜粋）	頁
第1号		令和3年度事業報告及び計算書類等の承認の件	定款第8条第2項の規定により、報告と承認を求めます。	
	報告	事業報告		1
	議決	貸借対照表		22
正味財産増減計算書			23	
第2号	報告	公益目的支出計画実施報告書に係る令和3年度末の公益目的財産額について	定款第7条の規定により、報告します。	28
第3号	報告	令和4年度事業計画及び収支予算書について	令和4年3月18日第8回理事会に提案し、決議された令和3年度事業計画及び収支予算書について、定款7条の規定により、報告します。	29
第4号	議決	評議員の選任について	定款第11条の規定により、承認を求めます。	38
第5号	議決	理事の選任について	定款第25条の規定により、承認を求めます。	39

## 第1号議案 令和3年度事業報告及び計算書類等の承認の件

### 令和3年度事業報告

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

一般財団法人本山町農業公社

#### 継1) 農用地利用推進事業(農地利用集積・農作業受委託)

農用地利用推進事業は、農地利用集積円滑化事業(農地の貸借)と農作業受委託を実施する公益目的事業で、担い手農家の減少や高齢化による耕作放棄地の抑制、農作業受託による農家の負担軽減に向けて、町や農業改良普及所、農業委員会などの関係機関と連携した取り組みを進めました。また、農業委員会へ農地利用最適化推進委員2名を送り出し、農地の流動化を推進する取り組みをしています。



##### 【農地利用円滑化事業】

農業経営基盤強化促進法の一部改正で、本町の農地利用円滑化団体(本山町農業公社)が実施してきた農地利用集積円滑化事業は、農地中間管理機構(高知県農業公社)へ県内統合一体化したことで、当公社を介して令和2年4月1日以降に新たな設定や更新が出来なくなりました。結果、これまで利用権設定した農地は、設定期間満了毎に縮小し、令和3年度末の設定面積は、202,315㎡で令和2年度末から147,479㎡の減少となりました。

##### 【本山町産業活性化未来創造構築事業】

これまでに当公社を介して、利用権の設定をしている農地所有者の大半は、期間満了後も再設定を希望しています。しかし、法改正により、当公社を介した設定が出来ないことで、農地所有者と農地の担い手は、お互いの協議により、農地法第3条による貸借もしくは、農業経営基盤強化促進法による貸借、何れかを選択して、自ら手続きをする必要があります。しかし、農地所有者の方は、高齢や遠方の方が多いために、面倒な調整役や事務手続きを当公社へ求める声が多く、寄せられていました。

そこで当公社は町と協議し、産業活性化未来創造構築事業委託契約を締結して、手続きの代行や契約調整を行う業務を行っています。令和3年度は、108,632㎡の契約支援を行いました。

【農作業受委託事業】

農作業受委託事業は、農家の高齢化により委託件数は高止まりの状況です（図②）。本年度も受託体制を整えるために、集落営農組織との連携や農作業オペレーターの育成を行いました。また、令和3年度は、新たにドローンによる防除作業をメニュー化し、体制を強化しました。

作業機械の維持管理では、専門整備職員を配置して、適切な管理に努めました。

農作業受託収入における昨年との比較 (図①)

令和2年度	令和3年度
14,905,546円	14,406,233

受託農作業実績

単位：a（戸数） (図②)

	育苗	あぜ塗り	水田整地～代掻き
29年度	3,448枚 (26)	936.4 (10)	861.7 (14)
30年度	3,433枚 (27)	873.2 (10)	1,653.8 (15)
元年度	3,078枚 (27)	879.1 (10)	1,458.2 (13)
2年度	3,861枚 (27)	1080.0 (11)	945.27 (14)
3年度	3,985枚 (32)	1,028.0 (10)	806.0 (13)
	田植え	刈り取り	粃摺り
29年度	1,442.80 (43)	3,464.0 (74)	7,487袋 (114)
30年度	1,556.10 (46)	3,832.2 (93)	6,921袋 (108)
元年度	1,424.50 (46)	3,403.4 (67)	7,143袋 (116)
2年度	1,783.25 (47)	3,790.9 (66)	6,264袋 (110)
3年度	1,695.00 (43)	3,689.0 (72)	6,716袋 (114)
	防除	色彩選別	
元年度	2,880.00 (13)	3,908 (82)	
2年度	2,687.26 (13)	4,658 (85)	
3年度	4,317.00 (29)	5,516 (74)	

## 2. その他事業

### 他1) 米生産事業

#### 【本山町特産品ブランド化推進協議会】

特別栽培米「土佐天空の郷」は、地域活性化や農地を守ることを目的に取り組んでいます。

町特産品ブランド化推進協議会でブランドの方向性を論議しながら、生産拡大に取り組むと同時に、消費者に求められる米づくりを実践しました。令和3年産は、当会社を含む35軒の農家で約31ha（ヒノヒカリ16ha・にこまる15ha）を作付けし、集荷量は3,682袋でした。

（図③）2年産に比べると栽培面積は4ha増加し、857袋の増加となりましたが、8月中下旬の多雨、寡照条件により、平年に比べてやや不良の年となりました。また、毎年、出品している全国品評会では、予選を通過することが出来ませんでした。県北地域のにこまる（品種）が日本穀物検定協会の発表する米の食味ランキングにおいて、5年連続で最高ランクの特Aを獲得しています。

<土佐天空の郷 昨年との等級比較>

（図③）

	2年産			3年産		
	1等	2等	計	1等	2等	計
ヒノヒカリ	437	806	1,243	956	615	1,571
にこまる	1,327	255	1,582	1,415	696	2,111
計	1,764	1,061	2,825	2,371	1,311	3,682
作付面積	約27ha（ヒノ約13ha・にこ約14ha）			約31ha（ヒノ約16ha・にこ約15ha）		
反収	約5俵			約6俵		



水田巡回



個人面談

#### 【ICTを活用したスマート農業による地場産業振興プロジェクト】

町から委託を受けて実施する産業活性化未来創造構築事業では、大豊町と連携して、ICTを活用したスマート農業による地場産業振興プロジェクトを実施しています。

令和3年度は、山間農業地域におけるスマート農機（ドローン、直進アシスト機能付きトラクター、食味分析機能付きコンバイン）の活用



スマート農業勉強会（下津野）

で作業の省力化や付加価値向上の可能性を探りました。

実証では、山間部ゆえに、GPSの位置情報が認識できない場所があり、スマート農機の使用が制限される状況でした。しかし、有利な事業を活用するなど地域内に衛星の基地局を設置し、環境整備をすれば、町全域でスマート農機が使用可能となり、作業の省力化やデータ農業による高品質化を現実することが可能と思われます。今後も研究を続けます。

また、完全自動航行のドローンを活用するため、昨年より人工衛星を活用した測量技術（RTK）で棚田測量を進めてきました。令和3年度は、その測量データを活用して、助藤地区の全域や土佐天空の郷の栽培ほ場などで実践を始めています。これまでの動力噴霧器作業に比べて、大幅な省力化と防除効果が確認できています。ドローンは、町全域での活用を目指した運用を検討しています。

水田センサーを用いた実証では、昨年に引き続き町ブランド化推進協議会や嶺北農業改良普及所と連携して活動しました。実証では、水管理の省力化の確認及びデータ分析による収穫適期予測や標高毎の登熟温度と白未熟粒割合の関係解析し、農家の栽培技術向上や支援に努めました。

また、本町でのスマート農業の現状と可能性を周知するため、1年の実証結果を踏まえて、農家向けの勉強会を開催しています。

#### 【米生産】

借り手のいない農地を維持し、農村環境を守るため、専属の職員を配置して米生産を行いました。令和3年産は、82,940㎡の水田のうち、土佐天空の郷約2.2haを作付けして258袋（ヒノヒカリ140袋、にこまる118袋）を収穫しました。また、約6haで天空の棚田米や酒米を作付けし、522袋の収穫をしています。これらの水田は、立地条件や水の便などにおいて、耕作の不利な条件であるため、反当5俵を目標として取り組みましたが、目標値に届きませんでした。今後は、職員の栽培技術向上や作業の効率化を進め、米生産における経営安定化を目指します。



スマート農業勉強会（吉延）



ドローン散布の現場

【多面的機能交付金・中山間地域等直接支払制度】

多面的機能支払交付金を活用し、町単一で組織する「土佐天空の郷保全会」の事務局に担当職員を配置して、農村環境の維持に努めています。

令和3年度は、当公社の呼び掛けで吉野、寺家地域を除く地域が組織に参加し、総面積で約195haの農地を対象に活動をしました。町全体の農業課題を組織で共有し、集落を超えて農業を支える活動を目指しています。なお、中山間地域等直接支払制度を活用する集落協定の事務受託の活動は、人員不足から十分な取り組みが出来ていません。



吉延・高角地区の共同作業（田役）



大石地区の共同作業（田役）

<土佐天空の郷の生産状況>

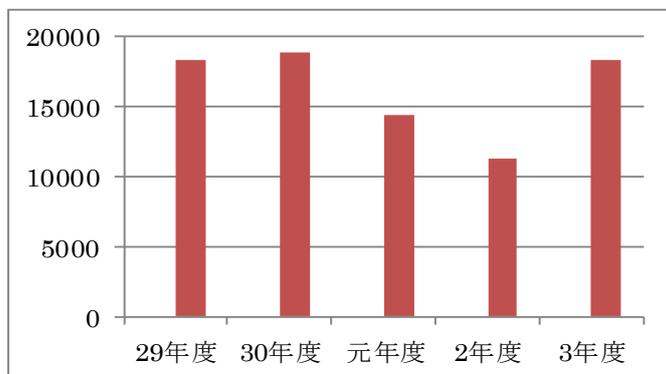
(図④)

年度	生産者数	生産面積	全体 30 kg袋数	全体重量
H21	22 人	15.5ha	2,200 袋/30 <sup>キ</sup> □	約 66 トン
H22	26 人	20.1ha	2,700 袋/30 <sup>キ</sup> □	約 81 トン
H23	36 人	26ha	3,823 袋/30 <sup>キ</sup> □	約 114 トン
H24	35 人	28ha	3,655 袋/30 <sup>キ</sup> □	約 109 トン
H25	39 人	32ha	4,419 袋/30 <sup>キ</sup> □	約 132 トン
H26	39 人	34ha	3,951 袋/30 <sup>キ</sup> □	約 118 トン
H27	41 人	34ha	3,581 袋/30 <sup>キ</sup> □	約 107 トン
H28	36 人	31ha	4,344 袋/30 <sup>キ</sup> □	約 130 トン
H29	35 人	29ha	4,226 袋/30 <sup>キ</sup> □	約 126 トン
H30	34 人	28ha	3,057 袋/30 <sup>キ</sup> □	約 91 トン
R 元	34 人	26ha	2,678 袋/30 <sup>キ</sup> □	約 80 トン
R2	36 人	27ha	2,825 袋/30 <sup>キ</sup> □	約 84 トン
R3	35 人	31ha	3,682 袋/30 <sup>キ</sup> □	約 110 トン

## 他2) 種苗事業

<種苗事業売上比較>

(千円)



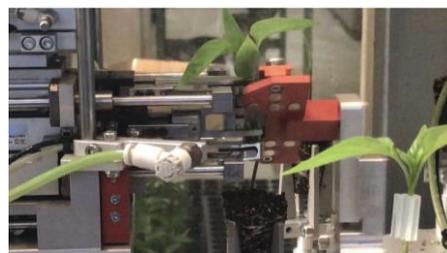
29年度	18,348
30年度	18,846
元年度	14,397
2年度	11,247
3年度	18,332

冷涼な気候や害虫の少ない優位な地域性を最大限に生かし、健全で良質な園芸用苗を嶺北管内や県内平野部の農家に供給しました。春苗では、越知町、佐川町方面の甘長トウガラシの需要が高まり、嶺北管内のミニトマトが減少傾向となっています。夏苗では、平野部のナスが増加し、全体的な売り上げが増加しています。また、本町に設置されたエフビットファームこうちの次世代ハウスへ供給の体制を整えるため、ロックウールキューブを使った苗の生産テストを行いました。3月上旬には1,000本の苗を納品しています。また、エフビットファームこうちでは、令和4年9月に本稼働を予定しており、約2万5千本の苗を供給する準備を進めています。



### 【スマート農業の推進】

オランダ製の半自動接木ロボット (Graft1100) を活用した接木苗を生産しています。本年は、約9割の接木苗で使用し、大きく省力化に繋がりました。また、高知県スマート農業技術実証支援事業を活用して、統合環境制御システム (アネシス Q2600) と連動する苗生産管理アプリを開発しました。これにより、ハウス環境とリンクした育苗履歴、生産工程が作成できるようになりました。さらに、ベテラン職員の灌水タイミングを視える化するために、重量センサーを活用した苗の質量監視アプリの開発調査を始めています。



人工光・閉鎖型苗生産装置 (苗テラス) では、次世代ハウスや春苗、夏苗の生産実証を行いました。ハウス育苗に比べて成長スピードが速く発芽率も高いことで作業の効率化に繋がります。年間フル稼働の体制を模索しています。

【ヤーコン事業】

農研機構の品種利用許諾を受け取り組むヤーコンは、引き続き「サラダオトメ」「アンデスの雪」「アンデスの乙女」を栽培しました。今後も農家と共に利用しやすい体制を構築する必要があります。

令和3年度育苗実績と前年度比較

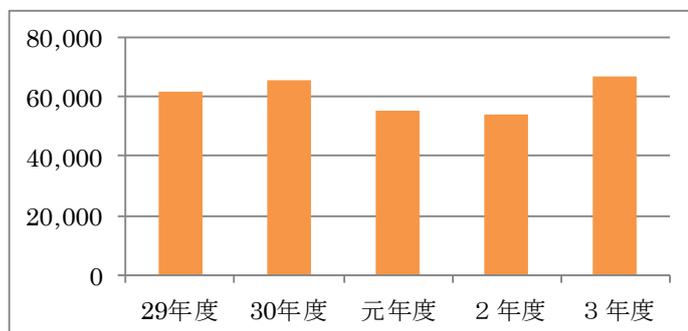
(千円)

品 種		2年度		3年度		増減金額
		本数(本)	金額	本数(本)	金額	
ミニトマト	嶺北	4,142	460	2,435	404	△56
トマト	嶺北	6,155	688	6,430	731	43
シシトウ/ 甘長トウガラシ	嶺北 高岡	8,364	1,152	16,963	3,129	1,977
ピーマン	嶺北	3,154	332	2,645	375	43
3色ピーマン	嶺北	2,735	466	8,725	1,882	1,416
パプリカ	エフビット			1,000	121	121
米ナス	嶺北 高岡	6,427	1,123	10,154	2,151	1,028
ナス	安芸方面	36,455	6,287	49,237	7,917	1,630
白菜	嶺北	691	124	928	133	9
レタス		64		64		
キャベツ		2,264		3,215		
ブロッコリー		40		110		
長ナス	嶺北	557	56	321	75	19
中長ナス	嶺北	162		265		
花苗	嶺北	2,466	225	3,005	356	131
本山さくら市他	嶺北	6,086	274	2,464	386	62
その他			60		672	612
合計		79,762	11,247	107,961	18,332	7,085

### 他 3) 特産品普及事業

(千円)

<米販売 売上比較>



29年度	61,738
30年度	65,628
元年度	55,643
2年度	54,402
3年度	66,805

#### 【土佐天空の郷の販売】

気象状況により不作となった令和2年産「土佐天空の郷」は、玄米の出荷量を抑制し、調整することで9月まで販売を延伸することが出来ました。

また、令和3年産の土佐天空の郷の販売については、高知、関西、中部、関東の卸業者と契約して出荷をすすめました。結果、令和3年度は玄米及び精米の出荷販売で40,112千円を売り上げています。玄米販売が大半を占めるブランド米ですが、地域経済の活性化には、精米や炊飯の販売が最も効果的です。加工販売班と連携して、出荷体制を検討しました。



小池精米店訪問（東京都原宿）

#### 【天空の棚田米・契約栽培米の販売】

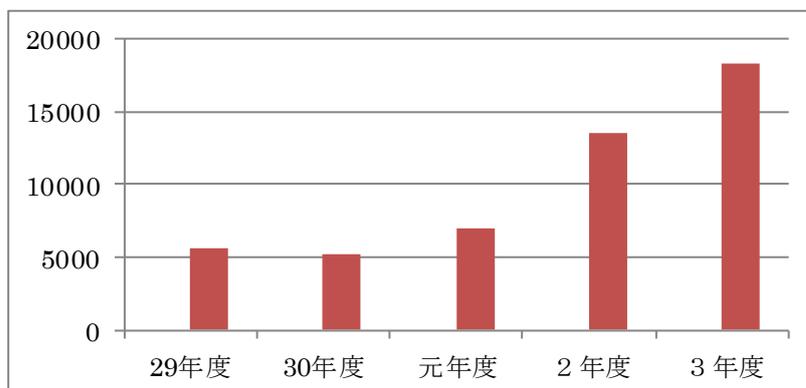
棚田の慣行栽培米やブランド米になることが出来なかった米などを大手量販店と契約して「天空の棚田米」として販売しました。本商品は、精米（2kg、5kg）を袋詰めしたもので15,225千円を売り上げており、ブランド米「土佐天空の郷」に次ぐ主力商品に成長しています。また、ヒノヒカリと香り米（ギフ錦）をブレンドした「契約栽培米」は、少量の販売ですが、20年以上続く人気の商品となっています。



展示 PR（農林水産省消費者の部屋）

<特産品販売 売上比較>

(千円)



29年度	5,666
30年度	5,208
元年度	6,935
2年度	13,515
3年度	18,271

【県版 HACCP 認証取得に向けて】

県では、消費地から求められる食品加工の基本を徹底するため、生産管理の高度化に取り組んでいます。平成30年に改正された「食品衛生法」では、原則すべての事業者「HACCP (ハサップ)」に沿った衛生管理の実施を求めており、令和3年6月から HACCP が義務化されました。こうした動きに対応し、当社でも現在第2ステージ認証に向けて取り組みを進めています。

【高知県地域産品地産地消推進事業】

当会社が事業提案し、高知県地域産品地産地消推進事業(定額補助)を活用した「嶺北産品を!飲んで!買って!応援するキャンペーン!」(4月15日~5月9日)を開催しました。この取り組みは、町内の店舗で対象の地場産品や地酒を購入した方にスクラッチを配布し、その場で総額100万円相当の地場産品



が当たるキャンペーンです。コロナ過で売り上げが低迷している飲食店や特産品販売店を訪問する機会を生み、地場産品を景品とすることで農産品の活用も高めることが出来ました。今回のキャンペーンは、大変に好評で再開を望む声が多く聞かれました。

【おむすび処 “こめのみみ”】

当店は、ブランド米「土佐天空の郷」と高知の具材にこだわる「おむすび屋」で都市部へ進出を目指して活動しています。また、おむすび一つ販売する毎に10円を農家に還元し、農家所得を向上させる役割も担います。7月に1周年を迎えた当店ですが、コロナ禍で客足が伸びず販売を伸ばすことは出来ませんでした。しかし、新メニューやおむすび弁当の開発などアフターコロナに向けて体制を強化しています。

### 【集出荷施設等緊急整備事業】

新型コロナウイルス感染症に伴い、職員間の接触機会を低減するため、高知県集出荷施設等緊急整備事業を活用して計量機能付き充填機を導入しました。計量及び袋詰め作業の効率化を図ることにより、増産が可能となり販売拡大に繋がっています。



計量充填機の活用

### 【農山村販売戦略会議推進事業】

本山まるごと産地付加価値推進会議を設置し、町全体でつくる6次産業化と農観連携を検討してきました。

地域の野菜生産及び販売を強化する取り組みでは、農業生産法人と連携して、野菜の委託生産体制や販売のテストを行いました。令和4年度から本格稼働に向けて、調整を進めています。



ヤーコンの漬物開発

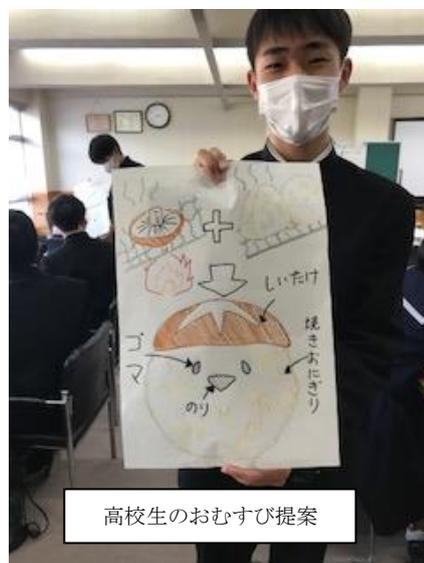
商品開発では、嶺北麻飯店（藤川工務店）と連携して、「嶺北麻婆醬黒」（れいほくまーぼーじゃんくろ）を開発し、販売を開始しました。また、さめうらフーズと連携した土佐天空の郷を使用した「お米アイス」の開発、県内の有名シェフ監修の「ヤーコンの漬物」、土佐天空の郷を活用した「鶏ときのこのチーズドリア（冷凍食品）」



修学旅行での棚田散策

「あかうしと地元野菜のミートドリア（冷凍食品）」「アランチーニ（ライスボール）」を開発し、商品化に向けて準備をしています。また、嶺北高校生と加工品開発の意見交換を行うなど、学生と共同した取り組みも行っています。

農観連携の取り組みでは、モンベルと連携し、高知商業高校の修学旅行を受入れ、農家と巡る棚田散策や特産品を紹介する学習会を行いました。また、農家や直売店を巡り、高校生の視点で特産品開発や販売促進方法を考えるワークショップを開催しました。



高校生のおむすび提案

### 【ふるさと納税推進会議】

この取り組みは、本山町ふるさと支援寄付金の取り組みを推進することで、納税額及び納税者数の増加を目指すと共に、地産外商等の取り組みを推進する目的で町から委託されています。

本年度は、地元企業らで構成するふるさと納税推進会議を3回開催し、全国の納税傾向を確認する勉強会の開催や地域企業へ向けて新規商品の提案を行いました。また、土佐町、大川村と連携した3町の共通返礼品など、返礼品の新規追加、既存品の組み合わせ構築、定期便の設置など、様々な取り組みで登録商品総数68品目を追加掲載しました。結果、令和3年度末で寄付金額2,785万円寄附件数1300件（前年比227%）となり、目標以上の実績を上げることが出来ました。



### 【本山さくら市の支援活動】

本山さくら市運営委員会と連携して運営の方向性の議論をしました。

令和4年4月より、本山さくら市における販売管理を当公社へ委託する方向で調整されており、実施に向けた役割分担や集客、生産、集荷へ向けた協議を進めています。

### 【粃の火】

粃殻を粉砕して、10分の1に加熱圧縮した固形燃料「粃の火」を製造しています。この商品は、ECサイトでの販売やふるさと納税の返礼品として出荷しており、まもなく完売の予定です。また、この商品は、高知県防災関連登録製品に認定されています。



## 他4) 委託事業

地域おこし協力隊1名を事業部生産班に配置し、多面的機能支払交付金を活用する組織「土佐天空の郷保全会」の事務局支援の任務を遂行しました。

また、地域おこし協力隊1名を事業部種苗班に配置し、スマート農業の展開で農業の魅力化を図る取り組みを遂行しました。

これらの業務で地域農業の仕組みと課題を把握し、協力隊の任務終了後も地域の中心で活躍できる人材に育成しています。

また、総務省の集落支援員制度を活用して、集落にある特産品の掘り起こしや販売支援、農産物集出荷業務による高齢者の見守りなど、集落で暮らす方々

の所得を向上させる活動を行いました。

#### 他5) 施設管理事業

町と、令和2年6月26日に締結した種苗センターとライスセンターの施設の管理に関する協定書(令和2年8月1日から令和7年7月31日までの5年間)に基づいて、適正な施設管理に努めました。

#### 法人管理

(1) 評議員・役員(理事・監事)

令和4年3月31日現在

評議員【任期4年】

役職	氏名	主な職業	就任日
評議員長	今西 芳彦	本山町森林組合長	令和3年6月21日
評議員	細川 博司	元本山町長	令和3年6月21日
評議員	松岡 寛	元本山町副町長	令和3年6月21日
評議員	岩本 誠生	本山町議会議長	令和3年6月21日
評議員	山下 文一	本山町農業委員会会長	令和3年6月21日
評議員	垣内 育男	JA 高知県土長地区常務	令和3年8月11日

## 役員

役職	氏名	主な職業	就任日
理事長	森 圭	商業	令和3年6月21日
専務理事	和田耕一	本山町まちづくり推進課課長補佐	令和3年6月21日
常務理事	大西千之	本山町教育長	令和3年6月21日
理事	古田浩二	農林業	令和3年6月21日
理事	田岡 清	農業	令和3年6月21日
理事	右城雄一	農業	令和3年6月21日
理事	庵原恵子	六次産業	令和3年6月21日
理事	小笠原博文	JA 高知県れいほく営農経済センター 一部長	令和3年8月11日
理事	川村勝彦	本山町まちづくり推進課課長	令和3年6月21日
監事	畠山憲明	農業	令和3年6月21日
監事	油野 昭彦	(株)四国銀行本山支店長	令和3年6月21日

役員の数、理事3名以上10名以内。監事は2名以内である(定款第24条)。  
理事の任期は2年、監事の任期は4年である(定款第28条)。

(2) 評議員会及び理事会の開催状況

評議員会開催状況

定時開催 6/25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度事業報告及び計算書類等の承認の件 (事業報告・貸借対照表・正味財産増減計算書)</li> <li>・公益目的支出計画実施報告書に係る令和2年度末の公益目的財産額について</li> <li>・令和3年度事業計画及び収支予算書について</li> <li>・評議員及び評議員会長の選任について</li> <li>・理事候補者の提案について</li> <li>・監事候補者の提案について</li> </ul>
第2回 8/11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員の選任について</li> <li>・理事の選任について</li> </ul>

監査

監査 5/18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決算監査</li> </ul>
---------	---

理事会開催状況

第1回 5/27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度事業報告及び計算書類等の承認の件</li> <li>・公益目的支出計画実施報告書に係る令和2年度末の公益目的財産額について</li> <li>・令和3年度定時評議員会の招集の件</li> <li>・評議員候補者の提案の件</li> <li>・理事候補者の提案の件</li> <li>・監事候補者の提案の件</li> <li>・本山さくら市との連携について</li> </ul>
第2回 6/25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員（常務理事）の選定の件</li> <li>・農産物検査規程の改定の件</li> </ul>
第3回 7/30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度第2回評議員会の招集の件</li> <li>・評議員候補者の提案の件</li> <li>・理事候補者の提案の件</li> <li>・本山さくら市との連携について</li> <li>・その他</li> </ul>
第4回 8/11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本山さくら市との連携について</li> <li>・その他</li> </ul>
第5回 8/30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンバインの導入について</li> <li>・社会人経験者及び短時間労働者の募集について</li> <li>・短時間労働者に関する要綱について</li> <li>・その他</li> </ul>

第6回 10/22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本山さくら市の業務契約について</li> <li>・ 職員採用試験の結果について</li> <li>・ 新採用職員の給与について</li> <li>・ 短時間労働者に関する要綱について</li> <li>・ 短期借入について</li> </ul>
第7回 12/17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職務（業務）執行状況報告</li> <li>・ 令和3年度上期事業報告について</li> <li>・ 手形貸付について</li> <li>・ 職員採用について</li> <li>・ その他</li> </ul>
第8回 3/18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本山さくら市との委託契約の件</li> <li>・ 職務（業務）執行状況報告</li> <li>・ 令和4年度事業計画及び収支予算書承認の件</li> <li>・ 農作業受託料の決定の件</li> <li>・ 職員処分の件</li> <li>・ 職員配置及び昇給の件</li> </ul>

## (3) 職員体制

令和4年3月31日現在

氏名	役職・担当業務	採用等
小原 由輝	事務局次長	平成26年4月1日
長野 翔太	事業部総務班 副主任	平成31年4月1日
金子 佳子	事務局総務班 (臨時職員)	平成14年3月1日
筒井 佑	事業部生産班 主任	平成26年4月1日
山内 学	事業部生産班 (臨時職員)	平成23年9月1日
大島 渉	事業部生産班 (地域おこし協力隊)	令和2年3月1日
和田 裕盛	事業部種苗班 主任	令和2年4月1日
前田 慎也	事業部種苗班 副主任	平成31年4月1日
川田 貴世	事業部種苗班 (地域おこし協力隊)	令和3年10月1日
町田 由美	事業部加工販売班	令和3年4月1日
横山 聖久	事業部加工販売班	平成31年4月1日
安武美紗紀	事業部加工販売班	令和3年4月1日
マイケル シンプソン	事業部加工販売班 (臨時職員)	平成8年4月1日
森下 知香	事業部加工販売班 (集落支援員)	令和2年4月13日
長野 志保	事業部加工販売班付外向	令和3年9月1日

## 附属明細書

事業報告の内容を補足する事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していません。

(資料)

主な業務経過報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

4月	1 年度始め行事 辞令交付式 (公社会議室) 2 Kintone 開発会議 (公社会議室) 5 エフビットとの会議 (役場会議室) 9 新入社員説明会 (公社会議室) 12 Kintone 開発会議 (公社会議室) 14 エフビットとの苗協議 (公社会議室) 14 大豊町とスマート農林業打合せ (公社会議室) 13 集落支援員活動協議 (農業公社会議室) 13 農業公社職員会議 (農業公社会議室) 16 野菜発送勉強会 (カワムラファーム) 19 加工品開発会議 (農業公社会議室) 23 Kintone 開発会議 (公社会議室) 28 土佐天空の郷保全会協議会 (役場会議室) 30 Kintone 開発会議 (公社会議室)
5月	10 Kintone 開発会議 (公社会議室) 12 アグリ事業戦略サポートセンター意見交換会 (公社会議室) 18 農業公社決算監査 (公社事務所) 20 Kintone 開発会議 (公社会議室) 21 嶺北中学校出前授業 (カワムラファーム) 21 本山町商工会通常総会 (プラチナセンター) 24 加工品開発会議 (公社会議室) 26 ブランド化推進協議会総会 (役場会議室) 28 Kintone 開発会議 (公社会議室) 28 ふるさと納税会議 (公社会議室)
6月	4 苗テラス使用説明 (種苗センター) 9 エフビットとの会議 (役場会議室) 9 さくら市運営委員会 (さくら市) 9 EC サイト・ふるさと納税ミーティング (公社事務所) 11 Kintone 開発会議 (公社会議室) 14 ふるさと納税商品開発会議 (公社事務所) 16 県立農業大学校との打合せ (県立農業大学校) 16 産業デジタル化推進課との打ち合わせ (公社会議室) 16 さくら市検討委員会 (JA 本山支所)

	17 Kintone 開発会議（公社会議室） 21 人材採用関係打合せ（公社事務所） 25 ふるさと納税推進会議（役場会議室） 25 ブランド化推進協議会役員会（公社会議室） 28 加工品開発会議（公社会議室） 30 モンベルとの協議（公社事務所）
7月	1 Kintone 開発会議（公社会議室） 2 商工会との協議（商工会） 5 ふるさと納税商品開発会議（公社会議室） 7 東京海上日動との協議（公社事務所） 8 エフビットとの協議（役場会議室） 8 Kintone 開発会議（公社会議室） 14 エフビットとの協議（役場会議室） 19 企画課と打合せ（公社会議室） 20 加工品開発会議（公社会議室） 28 県立農業大学校視察（公社会議室） 29 エフビットのと協議（役場会議室）
8月	2 ふるさと納税商品開発会議（公社会議室） 4 竹内園芸視察（徳島県） 5 ふるさと納税勉強会（プラチナセンター） 10 本山さくら市との協議（さくら市） 17 NTT ドコモとのWEB 会議（公社事務所） 20 Kintone 開発会議（公社会議室） 24 加工品開発会議（公社会議室） 25 地域リーダー養成塾講師（公社会議室） 26 エフビットとの協議（役場会議室）
9月	3 ふるさと納税商品開発会議（公社会議室） 9 プール育苗打合せ（種苗センター） 7 水門検討会（公社会議室） 8 エフビットとの打ち合わせ（役場会議室） 9 Kintone 開発会議（公社会議室） 10 OIP 会議（公社会議室） 10 アグリサポート戦略会議（公社会議室） 14 加工品開発会議（公社会議室） 15 坂本税理士と打合せ（公社会議室） 16 ブランド化推進協議会役員会（公社会議室）

	<p>16 さくら市運営委員会 (JA 本山支所)</p> <p>17 地域産品地産地消事業打合せ (役場町民相談室)</p> <p>21 さくら市との協議 (さくら市)</p> <p>24 Kintone 開発会議 (公社会議室)</p> <p>24 ブランド化推進協議会総会 (役場会議室)</p> <p>29 地域産品地産地消事業打合せ (役場町民相談室)</p> <p>29 社会人枠採用試験 (公社会議室)</p>
10月	<p>1 ふるさと納税商品開発会議 (公社会議室)</p> <p>4 イールファームとの協議 (公社会議室)</p> <p>5 加工販売班、総務班経営会議 (公社会議室)</p> <p>6 種苗班経営会議 (公社会議室)</p> <p>14 Kintone 開発会議 (公社会議室)</p> <p>19 さくら市臨時総会 (プラチナセンター)</p> <p>20 Kintone 開発会議 (公社会議室)</p> <p>21 水門検証協議 (公社事務所)</p> <p>22 職員採用試験 (プラチナセンター)</p> <p>25 指定管理に向けたさくら市との協議 (公社会議室)</p> <p>26 高知食糧との協議 (高知市)</p> <p>26 地域産品地産地消事業打合せ (役場町民相談室)</p> <p>27 ふるさと納税推進会議 (役場会議室)</p>
11月	<p>1 ふるさと納税商品開発会議 (公社事務所)</p> <p>8 本山町みらい創造協議会中間検査 (公社会議室)</p> <p>8 オープンイノベーションプラットホール会議 (公社会議室)</p> <p>10 さくら市選考委員会 (JA 本山支所)</p> <p>10 社会人枠採用試験 (公社会議室)</p> <p>12 エフビット会議 (役場会議室)</p> <p>15 Kintone 開発会議 (公社会議室)</p> <p>16~17 高知商業修学旅行受入れ (町内)</p> <p>19 エフビットとの協議 (種苗センター)</p> <p>24 種苗班会議 (公社会議室)</p> <p>25 除草ロボ検討会 (公社会議室)</p> <p>26 さくらプロジェクト (プラチナセンター)</p> <p>29 町スマート農業推進会議 (公社会議室)</p>

1 2月	1 高知 OIP 現地視察（議員控室） 6 花卉農家視察（土佐町） 7 スライドモアデモ（木能津） 7 土佐天空の郷保全会委員会（役場会議室） 9～10 おむすび視察（東京） 14 Kintone 開発会議（公社会議室） 16 販売店挨拶回り（高知市） 17 アグリサポートセンター会議（公社会議室） 17 産業活性化未来創造構築事業大豊町との打合せ（公社会議室） 27 農副連携事業の打合せ（しゃくなげ荘） 28 仕事納め行事（公社会議室）
1月	4 仕事始め行事（公社会議室） 5 農副連携事業打合せ（公社事務所） 6 RKC 取材（ヤーコン・コンニャク・こめのみみ等）（町内） 11 ふるさと納税推進会議（公社会議室） 11 農村 RMO 説明会（高知市） 13 エフビットファームとの会議（種苗センター） 13 ブランド化推進協議会役員会（公社会議室） 18 加工品試食会（公社加工室） 20 農水省予算説明会 20 特定地域づくり事業共同体打合せ（役場会議室） 21 嶺北高校加工品お披露目会（嶺北高校） 24 農村 RMO ヒアリング（役場会議室） 26 さくら市との打合せ（公社会議室） 27 エフビットファームとの打ち合わせ（種苗センター）
2月	1 ふるさと納税進捗会議（公社会議室） 1 町長との懇談会（町長室） 7 種苗法改正に伴う説明会（公社会議室） 7 町長・イノベーション推進課との協議（役場会議室） 8 スマート農業推進協議会（公社会議室） 10 エフビットファームとの協議（役場会議室） 10 NTT ドコモとの協議（公社会議室） 16 さめうらフーズ・JA との協議（さめうらフーズ） 16 リビングオーガニックとの協議（公社会議室） 28 ブランド化推進協議会役員会（公社会議室）
3月	2 吉延営農組合スマート農業実演会（吉延）

- |    |                       |
|----|-----------------------|
| 4  | 加工品開発会議（公社会議室）        |
| 7  | スタンプラリー抽選会（役場会議室）     |
| 7  | 水門等デジタル化協議（公社会議室）     |
| 8  | 加工販売班経営会議（公社会議室）      |
| 9  | スマート農業実演会（役場会議室・下津野）  |
| 10 | リビングオーガニックとの協議（公社会議室） |
| 10 | オペレーター会（公社会議室）        |
| 11 | 公社事業所説明会（県立農業大学校）     |
| 14 | さくら市運営会議（プラチナセンター）    |
| 16 | 農業クラスター会議（役場会議室）      |
| 17 | アグリサポートセンター会議（公社会議室）  |
| 17 | ふるさと納税推進会議（役場会議室）     |

## 貸借対照表

令和 4年 3月31日現在

一般財団法人 本山町農業公社

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	5,703,067	24,383,055	△ 18,679,988
売掛金	6,430,453	5,302,926	1,127,527
未収金	5,814,019	1,324,000	4,490,019
前払金	0	110	△ 110
商品	17,238,034	1,598,964	15,639,070
貯蔵品	7,253,701	14,542,558	△ 7,288,857
短期貸付金	304,000	0	304,000
仮払金	740,040	0	740,040
流動資産合計	43,483,314	47,151,613	△ 3,668,299
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産引当預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	2,954,005	4,375,267	△ 1,421,262
施設修繕積立金（一般）	2,744,402	2,008,584	735,818
特定資産合計	5,698,407	6,383,851	△ 685,444
(3) その他固定資産			
建物	691,548	743,054	△ 51,506
建物付属設備	2,028,143	2,221,105	△ 192,962
構築物	2	2	0
機械及び装置	22,370,999	23,928,364	△ 1,557,365
車両運搬具	5	5	0
什器備品	1,058,152	1,199,937	△ 141,785
出資証券	67,000	67,000	0
無形減価償却資産	1,489,107	1,924,135	△ 435,028
繰延資産	1,586,394	918,880	667,514
電話加入権	449,904	449,904	0
その他固定資産合計	29,741,254	31,452,386	△ 1,711,132
固定資産合計	45,439,661	47,836,237	△ 2,396,576
資産合計	88,922,975	94,987,850	△ 6,064,875
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	9,895,420	9,456,994	438,426
預り金	568,983	596,253	△ 27,270
仮受金	2,467	11,350	△ 8,883
前受金	263,700	299,450	△ 35,750
流動負債合計	10,730,570	10,364,047	366,523
2. 固定負債			
長期借入金	35,594,000	38,306,000	△ 2,712,000
退職給付引当金	2,953,624	4,375,032	△ 1,421,408
固定負債合計	38,547,624	42,681,032	△ 4,133,408
負債合計	49,278,194	53,045,079	△ 3,766,885
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	10,000,000	10,000,000	0
（うち基本財産への充当額）	10,000,000	10,000,000	0
2. 一般正味財産			
（うち特定資産への充当額）	29,644,781	31,942,771	△ 2,297,990
（うち特定資産への充当額）	2,744,402	2,008,584	735,818
正味財産合計	39,644,781	41,942,771	△ 2,297,990
負債及び正味財産合計	88,922,975	94,987,850	△ 6,064,875

## 正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

一般財団法人 本山町農業公社

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益	152,819,765	128,131,385	24,688,380
米売上	66,805,985	54,402,302	12,403,683
種苗売上	18,332,672	11,247,384	7,085,288
特産品売上	13,449,890	8,548,843	4,901,047
農作業受託収入	14,406,233	14,905,546	△ 499,313
おむすび処「こめののみみ」	4,821,746	4,966,426	△ 144,680
多面的機能交付金等事務手数料	1,053,000	1,107,000	△ 54,000
中山間地域等直接支払制度交付金	0	1,114,687	△ 1,114,687
農地貸付収入	2,407,114	2,466,254	△ 59,140
指定管理料収入	0	6,937,000	△ 6,937,000
産業活性化未来創造構築事業	15,300,000	15,085,000	215,000
太陽光発電	1,650,125	2,000,943	△ 350,818
地域おこし協力隊活動費	640,000	350,000	290,000
ふるさと納税支援基金推進に関する事業	0	3,000,000	△ 3,000,000
E Cサイト	0	2,000,000	△ 2,000,000
地域産品産地消推進事業	953,000	0	953,000
ふるさと納税販売推進会議委託費	1,500,000	0	1,500,000
農山村販売戦略会議推進事業委託	11,500,000	0	11,500,000
受取補助金等	14,002,686	18,550,250	△ 4,547,564
中山間地等直接支払制度交付金	1,215,686	0	1,215,686
指定管理料	7,168,000	0	7,168,000
農の雇用事業	1,746,000	2,728,000	△ 982,000
地域産品産地消推進事業	0	1,000,000	△ 1,000,000
EiJフンドリ間接補助金	0	904,200	△ 904,200
高知県スマート農業推進事業（ドローン）	0	3,000,000	△ 3,000,000
地域営農支援事業	216,000	1,048,000	△ 832,000
I T導入補助金	0	1,084,050	△ 1,084,050
高知県農業イノベーション園芸産地	0	8,786,000	△ 8,786,000
集出荷施設等緊急整備事業	3,607,000	0	3,607,000
コロナウイルス感染防止用品等補助金	50,000	0	50,000
受取寄付金	0	543,068	△ 543,068
雑収益	3,078,894	6,238,838	△ 3,159,944
受取利息	5,219	2,027	3,192
雑収入	1,199,663	3,961,009	△ 2,761,346
出向負担金収入	1,874,012	2,275,802	△ 401,790
経常収益計	169,901,345	153,463,541	16,437,804
(2) 経常費用			
売上原価	60,957,695	51,914,079	9,043,616
原材料費	54,812,419	43,516,283	11,296,136
消耗品費	6,145,276	8,397,796	△ 2,252,520
人件費	55,234,348	50,193,146	5,041,202
役員報酬	200,000	200,000	0
給与手当	29,695,627	26,054,163	3,641,464
臨時雇用賃金	17,408,206	16,109,475	1,298,731
法定福利費	6,599,495	6,592,468	7,027
退職金共済掛金	1,331,020	1,237,040	93,980
経費	55,936,792	48,255,390	7,681,402
消耗品費	2,636,942	2,651,074	△ 14,132
賃借料	9,256,466	3,788,236	5,468,230
委託費	3,681,170	1,967,397	1,713,773
租税公課	4,691,192	3,642,511	1,048,681
光熱水費	4,037,769	2,998,702	1,039,067
修繕費	4,121,706	4,283,496	△ 161,790
農地賃借料	2,440,764	3,127,114	△ 686,350
燃料費	3,566,745	1,985,917	1,580,828
通信運搬費	4,483,376	3,416,575	1,066,801
減価償却費	9,194,522	10,440,870	△ 1,246,348
旅費交通費	444,960	361,000	83,960
保守点検料	359,733	156,200	203,533
保険料	975,616	742,494	233,122
手数料	1,747,005	2,092,615	△ 345,610
広報宣伝費	657,064	2,735,459	△ 2,078,395
諸謝金	573,450	607,000	△ 33,550
負担金支出	523,839	355,800	168,039
支払利息	202,792	199,605	3,187
交際費	3,478	12,160	△ 8,682
福利厚生費	195,033	766,648	△ 571,615
開発費	161,472	38,864	122,608
雑費	1,981,698	1,885,653	96,045
経常費用計	172,128,835	150,362,615	21,766,220
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,227,490	3,100,926	△ 5,328,416
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,227,490	3,100,926	△ 5,328,416
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 2,227,490	3,100,926	△ 5,328,416
法人税、住民税及び事業税	70,500	70,500	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,297,990	3,030,426	△ 5,328,416
一般正味財産期首残高	31,942,771	28,912,345	3,030,426
一般正味財産期末残高	29,644,781	31,942,771	△ 2,297,990
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	0
III 正味財産期末残高	39,644,781	41,942,771	△ 2,297,990

正味財産増減計算書内訳表

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

一般財団法人 本山町農業公社

(単位：円)

科 目	実施事業会計	その他事業会計						法人会計(管理費)	合計
		他1米生産事業	他2種苗事業	他3特産品普及事業	他4委託事業	他5施設管理事業	その他事業(計)		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
事業収益	17,813,347	18,077,223	18,332,672	92,006,398	4,940,000	1,650,125	135,006,418	0	152,819,765
米売上	0	7,024,223	0	59,781,762	0	0	66,805,985	0	66,805,985
種苗売上	0	0	18,332,672	0	0	0	18,332,672	0	18,332,672
特産品売上	0	0	0	13,449,890	0	0	13,449,890	0	13,449,890
農作業受託収入	14,406,233	0	0	0	0	0	0	0	14,406,233
おむすび処「こめののみみ」	0	0	0	4,821,746	0	0	4,821,746	0	4,821,746
多面的機能交付金等事務手数料	0	1,053,000	0	0	0	0	1,053,000	0	1,053,000
農地貸付収入	2,407,114	0	0	0	0	0	0	0	2,407,114
産業活性化未来創造構築事業	1,000,000	10,000,000	0	0	4,300,000	0	14,300,000	0	15,300,000
太陽光発電	0	0	0	0	0	1,650,125	1,650,125	0	1,650,125
地域おこし協力隊活動費	0	0	0	0	640,000	0	640,000	0	640,000
地域産品地産地消推進事業	0	0	0	953,000	0	0	953,000	0	953,000
ふるさと納税販売推進会議委託費	0	0	0	1,500,000	0	0	1,500,000	0	1,500,000
農山村販売戦略会議推進事業委託	0	0	0	11,500,000	0	0	11,500,000	0	11,500,000
受取補助金等	0	2,605,686	52,000	5,121,000	0	6,224,000	14,002,686	0	14,002,686
中山間地域等直接支払制度交付金	0	1,215,686	0	0	0	0	1,215,686	0	1,215,686
指定管理料	0	942,000	52,000	0	0	6,174,000	7,168,000	0	7,168,000
農の雇用事業	0	388,000	0	1,358,000	0	0	1,746,000	0	1,746,000
地域営農支援事業	0	60,000	0	156,000	0	0	216,000	0	216,000
集出荷施設等緊急整備事業	0	0	0	3,607,000	0	0	3,607,000	0	3,607,000
コロナウイルス感染防止用品等補助金	0	0	0	0	0	50,000	50,000	0	50,000
雑収益	467	746,815	8	238,305	7	2,001,192	2,986,327	92,100	3,078,894
受取利息	466	8	8	97	7	4,633	4,753	0	5,219
雑収入	1	746,807	0	238,208	0	122,547	1,107,562	92,100	1,199,663
出向負担金収入	0	0	0	0	0	1,874,012	1,874,012	0	1,874,012
経常収益計	17,813,814	21,429,724	18,384,680	97,365,703	4,940,007	9,875,317	151,995,431	92,100	169,901,345
(2) 経常費用									0
売上原価	716,221	2,034,829	3,804,161	54,402,484	0	0	60,241,474	0	60,957,695
原材料費	0	0	2,832,165	51,980,254	0	0	54,812,419	0	54,812,419
消耗品費	716,221	2,034,829	971,996	2,422,230	0	0	5,429,055	0	6,145,276
人件費	11,568,699	5,826,454	8,874,784	20,250,011	2,765,675	5,748,725	43,465,649	200,000	55,234,348
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	200,000	200,000
給与手当	4,785,998	4,881,326	5,991,223	14,037,080	0	0	24,909,629	0	29,695,627
臨時雇用賃金	5,374,170	6,800	1,508,799	3,234,850	2,328,050	4,955,537	12,034,036	0	17,408,206
法定福利費	1,185,861	746,328	1,167,412	2,389,081	377,625	733,188	5,413,634	0	6,599,495
退職金共済掛金	222,670	192,000	207,350	589,000	60,000	60,000	1,108,350	0	1,331,020
経費	9,599,799	11,261,095	9,773,478	14,814,965	2,779,292	6,682,603	45,311,433	1,025,560	55,936,792
減価償却費	156,477	3,458,860	3,148,677	1,441,214	0	989,294	9,038,045	0	9,194,522
賃借料	518,377	3,520,440	640,700	1,782,671	2,080,322	713,956	8,738,089	0	9,256,466
租税公課	827,518	675,800	839,438	1,604,030	245,956	498,450	3,863,674	0	4,691,192
光熱水費	318,193	691,000	789,574	1,491,850	0	747,152	3,719,576	0	4,037,769
通信運搬費	968,758	10,670	445,636	2,631,052	1,500	425,760	3,514,618	0	4,483,376
燃料費	778,434	40,125	2,484,478	100,561	64,173	98,974	2,788,311	0	3,566,745
消耗品費	37,587	483,583	517,743	1,001,701	293,281	303,047	2,599,355	0	2,636,942
委託費	1,270,585	544,248	184,250	1,597,827	0	84,260	2,410,585	0	3,681,170
雑費	5,500	329,292	30,103	128,701	25,520	1,456,972	1,970,588	5,610	1,981,698
手数料	3,520	4,620	39,828	1,596,257	540	100,700	1,741,945	1,540	1,747,005
修繕費	2,552,629	465,010	145,767	406,635	0	551,665	1,569,077	0	4,121,706
保険料	99,190	465,511	87,415	96,980	68,000	158,520	876,426	0	975,616
広報宣伝費	0	0	0	657,064	0	0	657,064	0	657,064
負担金支出	0	1,800	404,653	87,386	0	30,000	523,839	0	523,839
農地賃借料	2,053,504	387,260	0	0	0	0	387,260	0	2,440,764
保守点検料	0	176,704	0	0	0	183,029	359,733	0	359,733
支払利息	0	0	0	0	0	202,792	202,792	0	202,792
福利厚生費	9,527	6,172	15,216	28,916	0	135,202	185,506	0	195,033
開発費	0	0	0	161,472	0	0	161,472	0	161,472
交際費	0	0	0	648	0	2,830	3,478	0	3,478
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	444,960	444,960
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	573,450	573,450
経常費用計	21,884,719	19,122,378	22,452,423	89,467,460	5,544,967	12,431,328	149,018,556	1,225,560	172,128,835
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,070,905	2,307,346	△ 4,067,743	7,898,243	△ 604,960	△ 2,556,011	2,976,875	△ 1,133,460	△ 2,227,490
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 4,070,905	2,307,346	△ 4,067,743	7,898,243	△ 604,960	△ 2,556,011	2,976,875	△ 1,133,460	△ 2,227,490
2. 経常外増減の部									0
(1) 経常外収益									0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 4,070,905	2,307,346	△ 4,067,743	7,898,243	△ 604,960	△ 2,556,011	2,976,875	△ 1,133,460	△ 2,227,490
税引前当期一般正味財産増減額	△ 4,070,905	2,307,346	△ 4,067,743	7,898,243	△ 604,960	△ 2,556,011	2,976,875	△ 1,133,460	△ 2,227,490
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	70,500	70,500	0	70,500
当期一般正味財産増減額	△ 4,070,905	2,307,346	△ 4,067,743	7,898,243	△ 604,960	△ 2,626,511	2,906,375	△ 1,133,460	△ 2,297,990
一般正味財産期首残高	△ 16,560,516	71,188,635	3,750,178	625,194	△ 2,386,960	△ 16,659,243	56,517,804	△ 8,014,517	31,942,771
一般正味財産期末残高	△ 20,631,421	73,495,981	△ 317,565	8,523,437	△ 2,991,920	△ 19,285,754	59,424,179	△ 9,147,977	29,644,781
II 指定正味財産増減の部									0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	10,000,000	10,000,000	0	10,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	10,000,000	10,000,000	0	10,000,000
III 正味財産期末残高	△ 20,631,421	73,495,981	△ 317,565	8,523,437	△ 2,991,920	△ 9,285,754	69,424,179	△ 9,147,977	39,644,781

## 財務諸表に対する注記(令和3年度)

一般財団法人本山町農業公社

### 1. 会計基準について

公益法人会計基準(公益認定等委員会 平成21年4月11日改正)に準拠して作成している。

### 2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却方法 主として定率法

(2) 退職給付引当金の会計処理

従業員の退職給付に充てるため、「職員退職手当の支給に関する規定」に基づき平成18年9月末時点で支払いを要する額を計上している。なお、平成18年10月より中小企業退職金共済に加入し、支払掛金を退職給付費用として計上している。

(3) 消費税等の会計処理 税込み

### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及び残高 (円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
施設修繕積立金	2,008,584	735,818	0	2,744,402
退職給付引当預金	4,375,267	0	1,421,262	2,954,005
小計	6,383,851	735,818	1,421,262	5,698,407
合計	16,383,851	735,818	1,421,262	15,698,407

### 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳 (円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充 当)	(うち一般正味 財産からの充 当)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
基本財産引当預金	10,000,000	(10,000,000)		
小計	10,000,000	(10,000,000)	0	0
特定資産				
施設修繕積立金	2,744,402		(2,744,402)	
退職給付引当預金	2,954,005			(2,954,005)
小計	5,698,407	0	(2,744,402)	(2,954,005)
合計	15,698,407	(10,000,000)	(2,744,402)	(2,954,005)

### 5. 固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高 (円)

科 目	取 得 額	減価償却 累計額	当期末残高
建物	4,343,000	3,651,452	691,548
建物付属設備	2,977,599	949,456	2,028,143
構築物	4,904,150	4,904,148	2
機械及び装置	51,005,294	28,634,295	22,370,999
車両運搬具	8,982,680	8,982,675	5
什器備品	5,093,501	4,035,349	1,058,152
	77,306,224	51,157,375	26,148,849

6.補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増減額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
中山間地域等直接支払制度交付金	大石集落協定		528,850	528,850	0	
中山間地域等直接支払制度交付金	古田・権代集落協定	0	686,836	686,836	0	
指定管理料	本山町		7,168,000	7,168,000	0	
農の雇用事業	一般社団法人高知県農業会議	0	1,746,000	1,746,000	0	
地域営農支援事業	高知県	0	216,000	216,000	0	
集出荷施設等緊急整備事業	本山町		3,607,000	3,607,000	0	
コロナウイルス感染防止用品等補助金	本山町		50,000	50,000	0	
合計		0	14,002,686	14,002,686	0	

7. 実施事業資産の内訳

実施事業資産の内訳は次のとおりである。(円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	3,881,400	3,575,520	305,880
構築物	4,904,150	4,904,148	2
機械及び装置	1,231,000	1,230,999	1
車両運搬具	6,936,080	6,936,076	4
什器備品	3,820,829	3,547,909	272,920
出資証券	50,000	—	57,000
電話加入権	449,904	—	449,904
	21,273,363	20,194,652	1,085,711

附属明細書(令和3年度)

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。

2. 引当金の明細

(円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	4,375,032	0	1,421,408	—	2,953,624

# 監 査 報 告

一般財団法人本山町農業公社

理 事 長 森 圭 様

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して本監査報告を作成し、以下のとおり報告します。

## 1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、法人事務所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討しました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る計算関係書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びこれらの附属明細書並びに財産目録並びに公益目的支出計画実施報告書について検討しました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告等に関する監査報告

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算関係書類に関する監査報告

計算関係書類は、当法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において、適正に表示しているものと認めます。

### (3) 公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

令和 4 年 5 月 24 日

一般財団法人本山町農業公社

監 事 畠 山 憲 明

監 事 油 野 昭 彦



第2号議案 公益目的支出計画実施報告書に係る令和3年度末の公益目的  
財産額について

平成25年4月、当公社は一般財団法人に移行しました。移行後、確定した公益目的財産額は40,747,360円で公益目的支出計画書では、毎年1,046,900円が公益目的支出額となり、平成25年度から39年間、農用地利用推進事業として実施（支出）することになります。

本年6月末までに提出する令和3年度公益目的支出計画実施報告では、公益目的支出額17,813,814円から実施事業収入額21,884,719円を差し引いた4,070,905円（累計20,873,312円）が公益目的支出額となり、公益目的財産の残額は、公益目的財産額40,747,360円から公益目的支出額（累計）20,873,312円を差し引いた19,874,048円となります。

単位：円

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
公益目的財産額	40,747,360			
公益目的収支差額 （〃単年度分）	4,407,192 (4,407,192)	5,580,654 (1,173,462)	7,464,719 (1,884,065)	9,350,781 (1,886,062)
公益目的支出額	22,932,247	23,164,592	21,167,283	22,496,809
実施事業収入額	18,525,055	21,991,130	19,283,218	20,610,747
公益目的財産残額	36,340,168	35,166,706	33,282,641	31,396,579

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
公益目的財産額	40,747,360			
公益目的収支差額 （〃単年度分）	10,773,761 (1,422,980)	11,771,356 (997,595)	11,159,703 (-611,653)	16,802,407 (5,642,704)
公益目的支出額	20,862,108	19,934,510	18,798,521	25,283,178
実施事業収入額	19,439,128	18,936,915	19,410,174	19,640,474
公益目的財産残額	29,973,599	28,976,004	29,587,657	23,944,953

	令和3年度
公益目的財産額	40,747,360
公益目的収支差額 （〃単年度分）	20,873,312 (4,070,905)
公益目的支出額	21,884,719
実施事業収入額	17,813,814
公益目的財産残額	19,874,048

### 第3議案 令和4年度事業計画及び収支予算書承認の件

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(はじめに)

財団法人本山町農業公社は、平成6年4月「農林業を中心とした地域づくりを進めるため、本山町の有する豊かな地域資源を活用した特産物の開発及び販売促進事業、農林作業の受委託事業、新規就農者を助長する研修事業等、農地の有効利用と幅



広い地域振興施策を実現するとともに、これらの施策を実施する町内の各種団体及び住民等が連帯する際の中核となり、もって活力ある地域の創造と住民福祉の向上を図る」ことを目的に設立し、今期で29年目を迎えます。

平成25年4月に一般財団法人に移行。移行後の運営体制は、農用地利用推進事業（農地利用集積、農作業受委託）を公益目的事業とし、米生産事業と種苗事業、特産品普及事業などを収益事業と位置付け事業を展開しています。また、令和4年度からは本山さくら市と販売管理における業務委託を締結し、収益事業に位置付けた本山さくら市事業を新設します。新たな運営体制を整え農産物販売を通じた地域振興を推進します。

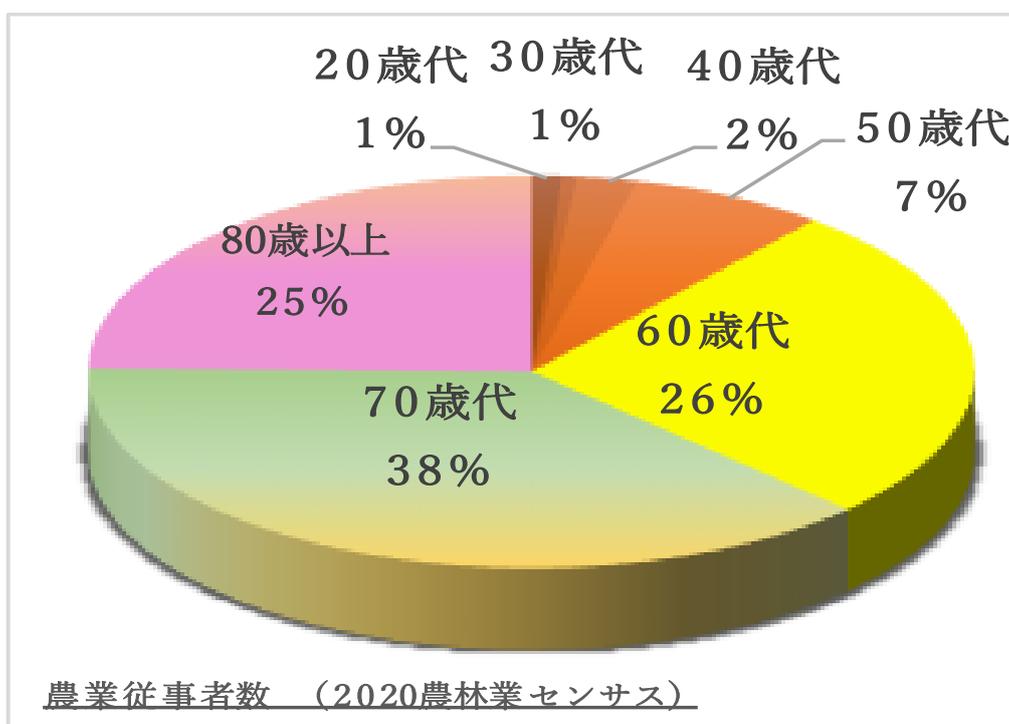
当公社は、設立以来、農地の流動化支援や農作業受託に取り組み、農地荒廃の抑制に取り組んできました。また、平成19年度には、稲作農家と当公社が中心となり、本山町特産品ブランド化推進協議会を発足し、コメのブランド化と同時に棚田を活用した取り組みで地域活性化を図ってきました。結果、2度の食味日本一を獲得するなど全国で注目されるコメとなり、農家所得の向上や棚田の知名度向上につなげてきました。また、この取り組みは、地域の活性化や所得向上に取り組む優良な事例として、第1回ディスカバー農山漁村（むら）の宝に選定されるなど、国からも高い評価を受けています。

特産品普及活動では、町内の農産品や加工品を幅広く取り扱い、営業活動やインターネットショップ「高知本山さくら市」を通じて販売促進活動をしてきました。

令和2年7月に開設したおむすび処「こめのみみ」は、ブランド米「土佐天空の郷」や高知食材のみを使用する拘りで、地域活性化を図ると同時に売り上げの一部を農家に還元し、農家所得向上を図ることを目的に活動しています。この取り組みが高く評価され、令和2年度に第35回高知県地場産業奨励賞を受賞しています。

平成7年4月から稼働している種苗センターは、嶺北地域を中心に苗生産を行い、管内園芸苗の約7割のシェア率を誇ります。さらに令和4年からは、本町で稼働を始めた次世代ハウス（エフビットファームこうち）への苗の供給も始まっています。

しかし、本町の農業従事者は、高齢化がより一層に深刻化しており、60歳以上の占める割合が約90%となっています。今後、急速に農業従事者が減少して行くことは明白です。これからも美しい農村環境を守り抜くためには、労働力不足に対応するスマート農業の普及や省力化や付加価値の向上など、これまでの農業生産を抜本的に見直す改革で、若者たちが魅力を感じる“次世代農業の創出”が必要と考えます。執行部や職員が一丸となって、持続可能な地域農業をつくっていかねばなりません。



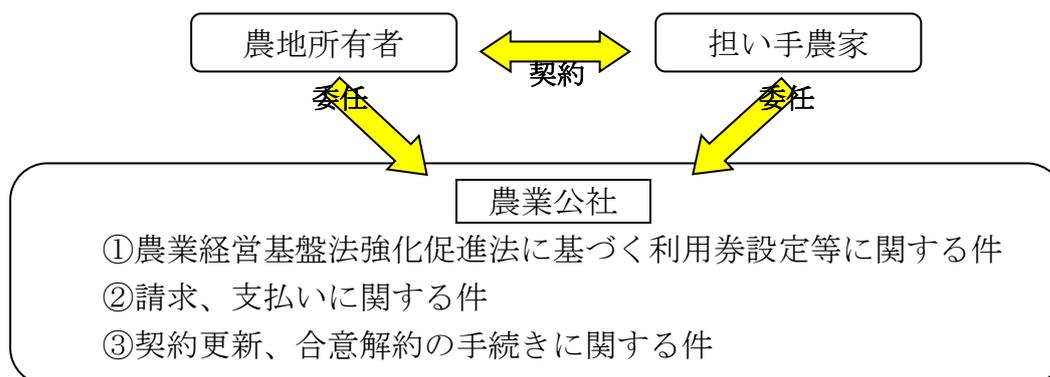
## 継 1) 農用地利用推進事業（農地利用集積・農作業受委託）

農用地利用推進事業は、農地利用集積円滑化事業（農地の貸借）と農作業受委託を実施する公益目的事業で、担い手農家の減少や高齢化による耕作放棄地の防止、農作業受託による農家負担軽減に向けて、町や農業改良普及所、農業委員会などの関係機関と連携した取り組みを進めます。また、農業委員会へ農地利用最適化推進委員2名を送り出し、農地流動化や農地荒廃防止に向けた取り組みを推進します。



### 【農地利用円滑化事業】

令和2年4月、農業経営基盤強化促進法の一部改正により、新たな利用権設定や更新が出来なくなりました。しかし、農地の借り手を求める声は、年々増加しています。そこで、町から委託を受けて実施する産業活性化未来創造構築事業で担当職員を配置し、農家に代わって利用権設定の事務や意見調整、入出金処理など農家を支援します。



### 【農作業受委託事業】

農作業受委託事業では、農家の高齢化や兼業化の影響により、作業委託が増加傾向にあります。集落営農団体などと連携を強化し、農作業オペレーターの確保や育成を進めます。また、機械の老朽が激しく修繕費が高んでいます。機械の更新計画を立て体制を見直します。

## 他 1) 米生産事業

### 【本山町特産品ブランド化推進協議会】

土佐天空の郷は、地域活性化や農地を守ることを目的に取り組んでいます。

令和3年産の作付面積は31ha（ヒノヒカリ16ha・にこまる15ha）、集荷量は3,682袋でした。2年産に比べると栽培面積は4ha増加し、857袋の増加となりました。令和4年産は、当公社を含む33名（2年3月現在）が28

ha（ヒノヒカリ 12ha、にこまる 16ha）で栽培や活動に取り組むことになっていきます。町特産品ブランド化推進協議会で方向性を論議しながら、生産拡大に取り組むと同時に、消費者に求められる米づくりを前進させます。また、地域 IOT 実装推進事業で整備した水田センサが 5 年目の稼働となります。引き続き嶺北農業改良普及所と連携して、データに基づいた農作業の省力化、高品質化、増収の検証を行います。

#### 【産業活性化未来創造構築事業】

当公社が管理する水田は約 10ha となっています。町から委託を受けて実施している産業活性化未来創造構築事業で専属の職員を配置し、農地の適正な管理に努めながら、ICT を活用したスマート農業による地場産業振興プロジェクトを実施します。この取り組みでは、ドローンやスマートトラクターの実証で山間農業地域におけるスマート農業の普及啓発活動を展開します。



#### 【多面的機能交付金・中山間地域等直接支払制度】

多面的機能支払交付金を活用し、町全体で組織する「土佐天空の郷保全会」の事務局に担当職員を配置して、農村環境の維持に努めます。また、同時に中山間地域等直接支払制度を活用する集落協定と協力して農地維持に努めます。

## 他 2) 種苗事業

冷涼な気候や害虫の少ない優位な地域性を最大限に生かし、健全で良質な園芸用苗を嶺北管内や県内平野部の農家へ JA 高知県などを通じて供給をします。また、町内で稼働を始めた次世代ハウス（エフビットファーム）へ向けて供給体制を整えます。



#### 【スマート農業の推進】

種苗センターは、オランダ製の半自動接木ロボット（Graft1100）、統合環境制御システム（アネシス Q2600）、人工光・閉鎖型苗生産装置（苗テラス）など最先端の機器を整備してきました。さらにクラウドサービス kintone を活用し、統合環境制御システムとリンクした苗生産管理アプリを開発しています。システムの更新を図りながら効率化及び高品質化に向けて取り組みを強化します。

#### 【本山さくら市の魅力化】

本山さくら市魅力化を目的に産直用苗の増産体制を整え出荷します。

#### 【ヤーコン】

農研機構（国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構）の品種利用許諾を受け取り組むヤーコンは、引き続き「サラダオトメ」「アンデスの雪」「アンデスの乙女」を栽培し、種や苗の供給をします。

### 他3) 特産品普及事業

#### 【米販売】

ブランド米の販売にあたっては、高知、関西、中部、関東のそれぞれの卸業者と契約に向けて協議を実施します。また、玄米販売が大半を占めるブランド米販売ですが、地域経済の活性化には、精米販売や炊飯販売が最も効果的です。積極的な営業活動を実施し、販売を強化します。



また、酒米の販売及び契約栽培米の販売など大手量販店と連携した天空の棚田米の販売も継続して行います。

#### 【おむすび処 “こめのみみ”】

おむすび処 “こめのみみ” は、本山さくら市のテナントを活用して、ブランド米「土佐天空の郷」や高知食材のみを使用する拘りで地域活性化を図ると同時に売り上げの一部を農家に還元し農家所得向上を図っています。本山さくら市と連携して販売向上を目指して活動します。また、新たな具材開発や提供方法を検討し、消費者に求められる商品開発を進めます。



#### 【加工品開発及び販売】

商品開発や既存商品の製造には、引き続き専属の職員を配置して、体制を整えます。また、営業活動や催事にも積極的に参加し、特産品の普及活動を実施します。インターネット販売では、ふるさと納税やECサイト「高知本山さくら市場」を活用して特産品販売の強化を図ります。

#### 【地域の名産品魅力発信事業】

アドバイザーを設置して方向性を協議し、町内で生産加工される商品の魅力

化や販売促進を図ります。また、魅力ある商品の開発で農産品の売上向上に繋がります。

#### 【ふるさと納税推進会議】

ふるさと納税推進会議を開催し、町内の企業間連携を図ります。また、地場産品を活用した商品の開発や魅力化を図ります。

#### 【本山まるごと産地付加価値推進事業】

本山さくら市を中心に生産、加工、販売の体制をつくり、町全体を視野に入れた6次産業化を実践します。また、モンベルや集落活動センターなどと連携して、町の資源を活かした観光や体験のメニューを模索します。

### 他4) 本山さくら市事業

本山さくら市と販売管理における業務委託を締結し、収益事業に位置付けた本山さくら市事業を開始します。

本年度は、本山さくら市運営委員会と十分に協議し、運営体制を整えることが重要です。また、出荷者と協議をしながら農産物の増産体制や集客方法を模索します。

### 他5) 委託事業

地域おこし協力隊を生産班へ1名（令和5年2月任務終了予定）、種苗班へ1名（令和5年3月任務終了予定）を配置し、中山間の特色を活かした活動を実施します。また、任務終了後も地域農業の中心となり、活躍できる人材に育成します。

総務省の集落支援員制度を活用して、集落支援員を雇用します。集落支援員は、加工販売班に配置し、各集落と連携して特産品の掘り起こしや開発支援、農産物生産出荷体制の構築、販路開拓などを行い、集落で暮らす方々の所得を向上させることを目的に活動します。また、直販施設「本山さくら市」の集出荷業務は、移動手段のない数軒の高齢者の農家に限られています。さくら市運営委員会と協議を進めながら今後の体制を模索します。

### 他6) 施設管理事業

町と、令和2年6月26日に締結した種苗センターとライスセンターの施設の管理に関する協定書（令和2年8月1日から令和7年7月31日までの5年間）に基づいて、適正な施設管理に努めます。

### 3. 法人管理

#### (1) 理事会・定時評議員会の開催予定

当社の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、監事の監査を受けたうえで、理事会の承認を受けなければなりません（定款第8条）。その内、事業報告貸借対照表及び正味財産増減計算書については、定時評議員会の承認を受けなければなりません（定款第8条第2項）。

また、評議員会は、定時評議員会として毎事業年度終了後3ヵ月以内に開催する事になっています（定款第16条）。

定款に基づき、令和4年度第1回理事会は5月末に、定時評議員会は6月中旬に開催すべく準備を進めていきます。

#### (2) 評議員及び役員（理事・監事）の改選

評議員の定数は、「3名以上8名以内（定款第10条）」で、任期は、「選任後4年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない（定款第12条）」となっています。

役員は、「理事3名以上10名以内、監事2名以内（定款第24条）」で、理事の任期は、「選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない（定款第28条）」です。

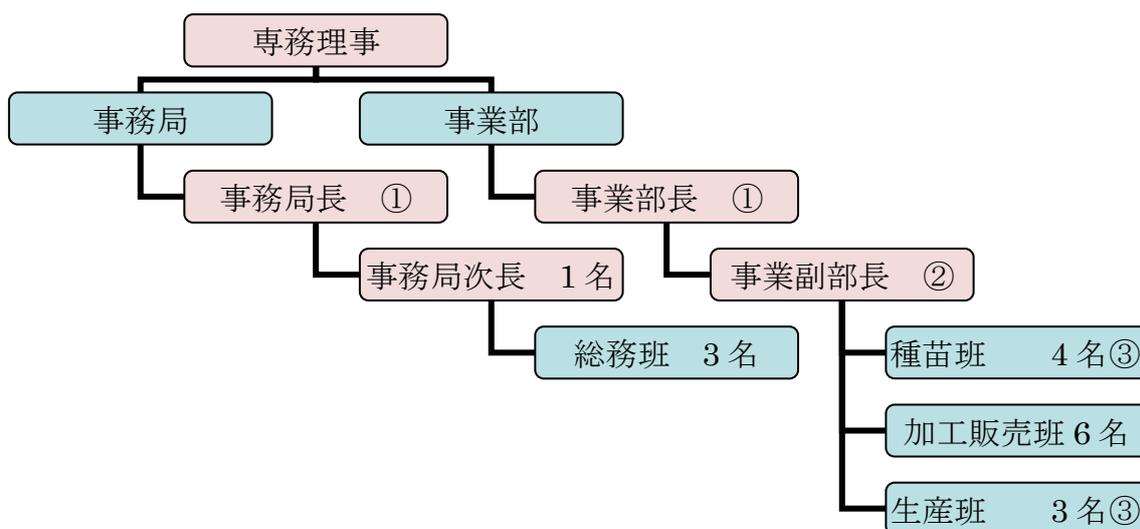
監事の任期は、「選任後4年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない（同第28条第2項）」となっています。定款に基づいて、必要な手続きを進めます。

(3) 職員体制 (令和4年4月1日予定)

事務局 総務班 【4名】	専務理事 1名 (本山町担当職員) 事務局長 ※専務理事が兼務 事務局次長 1名 副主任 1名 臨時職員 1名
事業部 生産班 加工販売班 種苗班 【14名】	事業部部長 ※専務理事が兼務 事業部副部長 ※事務局次長が兼務 主任 3名 副主任 2名 職員 3名 臨時職員 4名 協力隊員 2名

本年も農の雇用事業（地域営農支援事業雇用確保支援を含む）を活用し、新規就業者4名（2名は1年間、2名は8か月間）に対する研修を行います。集落支援員制度を活用して、集落支援員1名を雇用します。

【R4年度 職員体制図】



- ① 事務局長及び事業部長は専務理事が兼務
- ② 事業副部長は事務局次長が兼務
- ③ 地域おこし協力隊が生産班1名（2月まで）、種苗班1名（3月まで）

## 職務分担

### ★事務局

(総務班)

- 企画立案（事業提案・事業調査・事業組立・事業調整）
- さくら市事業（経理事務 等）
- 委託事業  
地域おこし協力隊関係、集落支援員関係
- 施設管理事業  
法人管理、施設管理全般、経理事務 等

### ★事業部

(生産班)

- 農用地利用推進事業（農作業受委託事業、農地利用円滑化事業）

本山町未来創造構築事業（農地利用円滑化事業）

- 米販売事業（米生産）、農地管理

本山町特産品ブランド化推進協議会事務局

本山町未来創造構築事業（スマート農業の取り組み）

多面的機能交付金事務局、中山間地域等直接支払制度事務業務、精米業務（農業公社精米所）、農業用機械整備管理、ライスセンター運営管理、米検査業務 等

(種苗班)

- 種苗事業

種苗センター運営管理、さくら市出荷調整業務 等

- 本山町スマート農業推進協議会

(加工販売班)

- 販売管理全般（米・特産品・ふるさと納税・EC サイト・販売営業）

- 特産品普及事業

本山さくら市運営委員会、本山町みらい創造協議会、  
本山まるごと産地付加価値推進事業 等

- おむすび処“こめのみみ”店舗運営管理

- 本山さくら市販売管理

- EC サイト運営管理

- ふるさと納税運営会議

# 令和4年度収支予算書（予算内訳表）

令和4年4月1日～令和5年3月31日

（単位：千円）

科目	実施事業等 会計① (継1)	その他会計						その他会計 小計 ②	法人会計 (管理費) ③	合計 ①+②+③
		他1	他2	他3	他4	他5	他6			
事業区分	農用地利用 推進事業	米生産事業	種苗事業	特産品 普及事業	さくら市 管理事業	委託事業	施設管理事業			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
1) 事業収入	20,301	21,284	20,606	98,688	23,321	6,100	8,454	178,453	0	198,754
販売収入	0	8,320	20,000	80,000	1,200	0	1,500	111,020	0	111,020
販売受託手数料収入	0	0	0	0	20,359	0	0	20,359	0	20,359
農作業受託収入	16,000	0	0	0	0	0	0	0	0	16,000
農地貸付収入	2,400	0	0	0	0	0	0	0	0	2,400
中山間地域等直接支払交付金	0	1,200	0	0	0	0	0	1,200	0	1,200
産業活性化未来創造構築事業委託費	1,000	10,000	0	0	0	4,450	0	14,450	0	15,450
多面的機能交付金等事務委託費	0	1,500	0	0	0	0	0	1,500	0	1,500
地域の名産品魅力発信事業委託費	0	0	0	5,000	0	0	0	5,000	0	5,000
農山村販売戦略会議推進事業委託費	0	0	0	11,000	0	0	0	11,000	0	11,000
本山さくら市管理委託費	0	0	0	0	766	1,650	0	2,416	0	2,416
地域おこし協力隊活動費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域営農支援事業	0	45	75	360	120	0	500	1,100	0	1,100
農の雇用事業	0	219	485	2,328	776	0	0	3,808	0	3,808
ライスセンター指定管理料	901	0	0	0	0	0	0	0	0	901
種苗センター指定管理料	0	0	46	0	0	0	6,454	6,500	0	6,500
雑収入	0	0	0	0	100	0	0	100	0	100
経常収益計	20,301	21,284	20,606	98,688	23,321	6,100	8,454	178,453	0	198,754
(2) 経常費用										
(売上原価)	1,800	2,000	8,200	60,500	1,000	0	0	71,700	0	73,500
原材料費	0	0	6,700	56,000	1,000	0	0	63,700	0	63,700
消耗品費	1,800	2,000	1,500	4,500	0	0	0	8,000	0	9,800
(人件費)	7,023	10,410	6,048	21,325	12,374	3,053	3,782	56,992	200	64,215
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	200	200
給料手当	4,152	5,394	4,380	14,320	3,330	0	0	27,424	0	31,576
臨時雇賃金	1,619	3,170	300	2,702	7,400	2,352	3,122	19,046	0	20,665
法定福利費	600	1,322	700	3,409	630	391	600	7,052	0	7,652
退職金共済掛金	152	174	168	544	264	60	60	1,270	0	1,422
超勤手当	500	350	500	350	750	250	0	2,200	0	2,700
(経費)	12,404	8,508	5,357	9,843	9,823	3,047	5,041	41,619	912	54,935
消耗品費	500	250	100	900	898	858	0	3,006	0	3,506
租税公課	800	263	315	1,670	852	0	650	3,750	20	4,570
修繕費	2,500	100	100	100	536	0	500	1,336	0	3,836
通信運搬費	1,200	447	25	30	407	100	500	1,509	0	2,709
賃借料	350	4,196	562	1,668	2,448	1,749	700	11,323	0	11,673
農地賃借料	2,400	661	0	0	0	0	0	661	0	3,061
燃料費	800	100	1,500	90	0	50	80	1,820	0	2,620
減価償却費	74	2,431	625	763	0	0	1,025	4,844	0	4,918
水道光熱費	1,000	0	2,000	60	2,200	0	50	4,310	0	5,310
委託費	1,800	0	0	3,162	0	0	600	3,762	0	5,562
手数料	3	0	30	1,200	1,115	0	130	2,475	3	2,481
旅費交通費	0	0	0	10	646	100	0	756	334	1,090
保険料	650	0	90	120	140	20	189	559	0	1,209
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	555	555
広報宣伝費	0	0	0	0	123	0	10	133	0	133
雑費	0	0	0	0	250	150	0	400	0	400
保守点検料	327	0	0	0	0	0	127	127	0	454
福利厚生費	0	50	10	50	208	20	250	588	0	588
交際費	0	10	0	20	0	0	0	30	0	30
支払利息	0	0	0	0	0	0	200	200	0	200
負担金支出	0	0	0	0	0	0	30	30	0	30
経常費用計	21,227	20,918	19,605	91,668	23,197	6,100	8,823	170,311	1,112	192,650
当期経常増減額	-926	366	1,001	7,020	124	0	-369	8,142	-1,112	6,104
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
(2) 経常外費用										
当期一般正味財産増減額	-926	366	1,001	7,020	124	0	-369	8,142	-1,112	6,104
一般正味財産期首残高										
一般正味財産期末残高										
II 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額		0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高		0	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000
指定正味財産期末残高		0	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000
III 正味財産期末残高										
										10,000

#### 第4号議案 評議員候補者の提案について

一般財団法人本山町農業公社定款第11条1項の規定により、評議員候補者を評議員会に提案します。

#### 評議員候補

氏名	年齢	性別	住所	備考
さわだ かずひろ 澤田 和廣	62	男	本山町北山甲 533-2	本山町長
たかはし きよひと 高橋 清人	62	男	本山町寺家 655	本山町副町長

評議員の辞任に伴い、上記の者を評議員の候補者とします。

第5号議案 理事候補者の提案について

一般財団法人本山町農業公社定款第25条1項の規定により、理事候補者を評議員会に提案します。

理事候補

氏名	年齢	性別	住所	備考
たおか あきら 田岡 明	51	男	本山町吉延 378	本山町まちづくり推進課課長

理事の辞任に伴い、上記の者を理事の候補者とします。